

第1号様式

令和6年度 第2回 保土ヶ谷区 障害者地域自立支援協議会全体会（定例会） 議事録	
日 時	令和6年10月1日（火）14:00 ～ 16:15
開催場所	保土ヶ谷公会堂 1号
出席者	参加者名簿参照
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人： 名) ・ 非公開
議 題	<p>司会進行：生活支援センター平良 議事録：ほどがや希望の家 島田・早坂</p> <p>1. 開催挨拶 保土ヶ谷区役所 高齢障害担当係長 市川氏</p> <p>保土ヶ谷区の自立支援協議会は、9つの部会で構成されていて、年2回の全体会を実施している。</p> <p>地域生活支援拠点については令和元年度から整備を始めた。この地域生活支援拠点は、親亡きあとに安心して暮らしていけるようにする等のための課題を箱ものではなく、ネットワークによって解決していく機能であるので本日のグループワークでの意見を参考にしていきたい。</p> <p>2. 各部会より R6 年度中間報告</p> <p>事務局・担当者会議より報告 石田氏</p> <p>前年度から地域生活拠点等について、全体会、担当者会で課題を解決していくこととなった。前回での全体会では報告事項が多かったためグループワークは実施しなかったが、6月4日の担当者会議では、第5期のほっとなまちづくりのヒヤリングを行った。事務局では、障害者権利条約についての一斉アクションや区制100周年、地域の体制づくりについて、会議に参加する事や議論をしている</p> <p>こども部会より報告 杉本氏</p> <p>6月14日に「性教育」について、さくらみらい医院の田口医師を招いて研修会を実施した。部会員以外にも区役所、児相等が参加した。11月には障害のある子どもの虐待、ネグレクト、社会的擁護や家庭復帰の現状について西部児童相談所の方からお話を聞く。1月の部会では上菅田支援学校の見学会を行う。</p> <p>こども余暇より 金山</p> <p>「ほっとふれんず夏（運動会）」を7/28に開催した。当日参加してくれるボランティアさんには7/20に説明会を実施。当日は12組の親子が参加し、ボランティアさんも5名参加してくれた。次回は春を予定していて、障害児と地域の方がつながるような活動に取り組んでいきたい</p> <p>ほっとらんど 早坂氏</p> <p>西谷地区センターをお借りしてコーヒーの提供を通じて、障害のある方の社会参加</p>

と地域の方との交流の場として長年実施している。

事務局は月1回実施していて、参加者は、参加事業所の利用者、事業所職員、ボランティアさん、地区センター職員を交えて情報交換を行っている。

以前は、設備の故障や地区センターの利用者の減少などで売上が落ちているが、コロナが5類に移行後は、地区センターを利用している常連のお客さんも戻ってきて売上も増えてきているので、参加事業所を増やして行きたい

自主製品販売強化実行委員会 武藤氏

現在、14事業所と区社協、区役所が参加している

拠点整備計画の進捗としては、専門的、地域の体制づくり、月一回定例会議。月10日ほど区役所にて実施しているスマイルガーデンに出店し、老人クラブの方がボラとして参加してくれているので地域連携につながっている。イオンでの販売は月1回で6~7か所の事業所が参加していて、基幹も「よろず相談ブース」として参加している。またスマイルガーデンは障害者週間での販売も予定している。西谷浄水場での販売は基本的に浄水場職員向けの販売。現在、星川駅での販売では4区（泉、瀬谷、旭、保土ヶ谷）が同日に販売をする事を企画している。また地域間の交流として星川駅販売に瀬谷区の事業所が参加する予定。星川駅の販売にも基幹が「よろず相談ブース」として参加する。星川駅販売での販売には学生にボラをお願いしたが、返答はきていない。県商工との交流では希望の家にて生徒5名が作業体験をしている。また、10月26日の文化祭にてスマイルガーデンの販売が可能となり同時にPR画像を企画している。また、ケアプラとの交流、社会福祉大会、花フェスタ、区民まつり、社会保険協会主催でのイベントでの販売を行う

当事者活動支援部会 早坂氏

今年度も上映会を実施したいと考えていたが、予算等の理由によりに困難であるので、現在、部会メンバーがお互いにお互いの事を知る事も目的として情報交換を行っている。下期は、地域への啓発について情報交換をして行く。

まちで暮らすネットワーク（地域生活支援拠点部会） 高桑氏

7月の部会では、短期入所の事業所との情報交換を行なった。9月には恵和青年寮での事例をもとに参加者でアイデア出しを行った。

この部会は、もともと地域生活支援拠点部会だが、この部会だけで地域生活拠点機能を網羅し課題の解決は難しいので各部会と協力していきたい。次回はグループホーム交流会を行う予定。

防災部会 早坂氏

9月には「被災地障害者センター横浜ほどがや開設シミュレーション訓練」を実施した。訓練を実施した事による課題を事務局や部会で検討し、マニュアル化していきたい。また、能登半島地震に支援にいった部会のメンバーから能登の現状を報告していただいたが、能登と保土ヶ谷区は地形的に類似している事があり、支援活動が困難になるのではないかとの報告が印象に残った。

尚、部会のメンバーや事務局を増やしていきたいので、災害対策について興味のある

る事業所の方は参加していただきたい。

相談支援部会 相原

部会では、計画相談をしている事業所の課題について情報交換や解決策について相談をしている。9月までは計画書通り実施出来ている。

また、部会の時間を30分延長して、事例、地域移行、認知症などについて情報交換をしている。新規の事業所も増えていて、事務局のメンバーで事業所訪問をしている。また、地域体制強化加算についてマニュアルを作成している。地域移行については他の部会と協力していきたい。10月は虐待、1月は事例検討、2月は振り返りを行う。更に、複数の事業所で協力しているメリット（収入増など）とデメリット（運営規定の改訂や週1回の会議など）があるので検討をしている。

精神 net 小池氏

月1回全体会、アウトリーチ、事例検討（他事業所との連携）、ほどほどの会（病院にて支援の共有、共同活動をしている）。事務局では各取り組みの進捗情報を共有している。11月10日の「わいわいフェスティバル」に参加し、啓発活動をする。また、事例を集めて解決していくことや、他分野の方に来ていただき普及啓発をしていきたい。

地域支え合い研修 佐藤氏

月1回会議を行っている。7月の研修では生活支援センターの平良所長から、支援の基本的な考え方について講義をしていただいた。

尚、3月にも研修を予定していて上半期の研修会参加者のアンケートや芹が谷やまゆり園の見学会のアンケートをもとに内容を検討していく。

お仕事フェア 島田氏

今年度で6回目。毎回60名前後の参加。お仕事サイトは800件のアクセス。注目はされてきていて、採用につながってきている。

主催はゆめだが実行委員会方式で区内の事業所で会議をしている。興味がある方は参加してほしい。

また、当日の案内係だけでも参考になる事があると思うのでお手伝い出来る方は参加してほしい。

3. グループワーク

「地域生活拠点整備計画を元ネタに、アイデアと身近な課題を出し合おう！」

- ① 相談、緊急時の受入れ・対応
- ② 体験の機会・場
- ③ その他居住支援
- ④ 地域の体制づくり（ほっとなまちづくりも絡めて）
- ⑤ 専門的人材の確保・育成
- ⑥ 2024報酬改定の情報・対応の共有（BCP含む）

4. グループワーク全体共有

（数グループから報告）

（専門的人材の確保・育成）

- ・スキルアップ、医療的な方の介護→外部との協力、学びを進める。
- ・中核的な人材の育成

- ・人員が足りない。現場、管理職
- ・実習をしても人を見極めれない。
- ・採用前にバイトから入ってもらう。
- ・作文を書いてもらう。
- ・体験実習
- ・新人研修の実習
- ・他事業所の見学
- ・ひとつの事業所では解決できないので、複数の事業所で取り組んでいきたい。
- ・報酬単価が安い

(相談、緊急時の受入れ・対応)

- ・緊急の定義とは何か、服薬中断、失踪、キーパーソンの不在、急に住めなくなっ
てしまったなど多岐に渡り定義が難しい。
- ・そもそも知的や身体の方は受け入れが少ない
- ・場所や人を含めた緊急時対応が出来る窓口が外部に欲しい。
- ・高齢だと 24 時間対応加算があるが・・・
- ・地域の方と連携して困っている人を見つけていきたい。

(体験の機会・場 その他居住支援)

- ・不登校の方が多い。将来働き手がなくなるのではないか？不登校の方で保健室
がいっぱいになってしまっている。
- ・放課後等デイサービスに通っていた方が作業所等に通所すると課題が多い。

(地域の体制づくり (ほっとなまちづくりも絡めて))

- ・分野 (高齢、障害、こども) の違う交流
- ・いろいろな分野とのイベントコラボ
- ・警察との協力が大切。地域単位での警察との情報交換が必要と思う

(2024 報酬改定の情報・対応の共有 (BCP含む))

- ・申請書式の配布が遅い
- ・加算の仕組みが複雑で取得出来ない。
- ・報酬についての部会があった方が区と話せるのではないか？
- ・放課後等デイサービスは他の事業所と交流がない。
- ・送迎ドライバーがすくない。

5. 保土ヶ谷区一斉アクションについて 協力依頼

保土ヶ谷区基幹相談支援センター遠藤氏より

- ・資料にそって説明。
- ・障害者権利条約が地域に広がる様に一斉アクションを実施する。
- ・オリジナルのポスターを作成して、写真を送っていただければHPに掲載する。

6. 区制 100 周年事業について

保土ケ谷区役所 高齢障害担当係長 市川氏より

- ・チラシに沿って説明
- ・令和9年で100年
- ・区役所でも行事を考えている。
- ・自立支援協議会や個人でも応募は可能
- ・締め切りは特にない。

7. 情報共有

- ・保土ケ谷区成年後見サポートネットより

12月19日(木) 15:15~17:00 区役所401会議室にて
成年後見制度・座談会を開催する。

内容は、区内で活動中の成年後見制度専門職、弁護士、司法書士、行政書士、
社会福祉士さんに集まっていただき、参加者の相談に応じる座談会を開催す
る。

- ・発達障害者支援センターより

10月23日から12月24日の全4回 発達障害者相談応用研修を行う。
基礎研修を受けていなくても受講できる。

- ・スマイル相談

7月からイオン販売にてよろず相談を基幹が行っている。11時~14時に実
施。

8. まとめ

保土ケ谷区地域自立支援協議会 代表 石田氏

- ・障害のある方の高齢化が課題となっているのでケアプラとの連携が必要。
- ・障害の拠点は基幹と生活支援センターだが地域とのつながりが弱い
- ・こども分野との連携も課題。学生が障害福祉につながる機会が少ない。
区のほとなまちづくりでは、自立支援協議会の活動を地域に協力してもら
うために地域に知ってもらう事が大切。
- ・ほとなまちづくり、地域生活拠点、両方を考えていく必要がある。
- ・区制100周年についても次回の担当者会議で考えていきたい。
- ・ホームページをぜひ見てもらい、自立支援協議会の活動を知ってもらいた
い。今回のグループワークを次年度の計画に入れていきたい。
- ・優生保護法についてまだ解決出来ていない部分があるので是非協力していただ
きたい。

次回担当者会議：11月5日(火) 14:00~16:00

場所：保土ケ谷区役所地下会議室